

調査先選定参考資料

○地域における子育てに関わる人材育成について

調査候補

① 生出小・中学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

令和2年冬に、PTA・地域の諸団体・施設の代表者など15名を委員とし、コミュニティ・スクールを立ち上げた。学校と地域で「どのような子どもを育てたいのか」などの目標・ビジョンを共有するために、「熟議（熟慮と議論）」を重ねている。学校運営協議会の熟議の際には、外部のファシリテーターを招聘し、委員が話しやすい雰囲気をつくっている。地域の子育てを大きな柱として活動しながら、課題はあるが、子どもたちを取り巻く大人の人材育成にも寄与している。（市民センター他、社会教育施設が十分に関わっている。）

② 愛子小学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

令和2年冬に諸団体・施設の代表者など8名+学校2名（校長・教頭）でコミュニティ・スクールを立ち上げ、「愛子のチカラコブ（地域から鼓舞）」をイメージキャラクターと合言葉に、活動を展開。「あいさつキャンペーン」では児童、学校、地域、PTAがそれぞれの役割をマッチングさせて、コミュニティ・スクールを体現している。地域の子育てを大きな柱として活動しながら、子どもたちを取り巻く大人の人材育成にも寄与している。（社会学級他、社会教育と十分に関わっている。）

③ 子ども食堂むすびのひろば（あそび隊、むすび隊）

泉区加茂で子ども食堂など活動を実施している。誰もが気軽に参加できる子どものあそび場づくりや子ども食堂の運営などを行っている。運営関係者は公益財団法人せんだい男女共同参画財団の地域版女性リーダー育成プログラム（決める・動く）2021修了者。

④ 子育て支援クラブきしゃぽっぽ

東長町児童館子育て支援クラブで地域の果物・野菜狩り、ハロウィンイベントなどを行っている。運営関係者は公益財団法人せんだい男女共同参画財団の地域版女性リーダー育成プログラム（決める・動く）2021修了者で、マンションの自治会活動等を通して住民のつながりを強める取り組みを行っている。

調査先を選定する際の視点

- ① 「地域にねざした団体」または「地域づくりに貢献している団体」
- ② 「社会教育施設が関わっている団体」または「学校においても社会教育的な視点で関わっている団体」
- ③ 「人材育成をしている団体」または「人材育成につながっている団体」